

群馬大学大学院理工学府物質・環境部門 教員公募

1. 職 名 助教
2. 募集者名称 国立大学法人群馬大学
3. 所 属 大学院理工学府物質・環境部門（応用化学プログラム）
4. 業務内容 研 究
 - ・ 広い意味での無機物質化学分野の研究
 - ・ 光機能、酸化還元機能分野の研究教 育
 - ・ 大学院・学部学生に対する教育・研究指導
 - ・ 担当授業科目

（学部）物質・環境基礎実験、応用化学実験Ⅰ～Ⅲ、応用化学演習Ⅱ、課題解決セミナー（授業補助）、プロジェクト参加研究（授業補助）等

（大学院）理工学特別演習（授業補助）、理工学特別実験（授業補助）等

管理運営・社会貢献
 - ・ 理工学府および応用化学プログラムの管理運営に関する業務
 - ・ 理工学府、物質・環境類が進める社会貢献活動への参画・協力
5. 勤 務 地 桐生市天神町 1-5-1 桐生キャンパス
6. 募集人数 1 名
7. 採用予定日 令和 8 年 12 月 1 日以降
8. 専門分野 大分類：ナノテク・材料
小分類：無機材料、物性
小分類：機能物性化学
小分類：無機物質、無機材料化学
9. 任 期 5 年
再任(5 年) 1 回まで可。任期中に業績評価・審査を行い、適任となった者は任期の定めのない教員として雇用する。定年は満 65 歳の年度末とする。
10. 応募資格 次のいずれも満たす者
(1) 博士の学位を有する方、あるいは着任までに取得予定の方
(2) 令和 9 年 4 月 1 日までに着任できる方

- (3) 「7. 採用予定日」(令和8年12月1日)時点で、修士の学位取得後、12年以内の者
- (4) 藤沢潤一教授と協力して、光機能・酸化還元機能のための物質開拓を行うとともに、応用化学分野の大学院・学部の教育に意欲的に取り組める方。
- (5) 社会貢献業務、学部運営業務等に積極的に関われる方

11. 給 与 年俸制適用 退職手当あり
本学教職員就業規則及び2号年俸制適用教員給与規則に基づき、学歴・職務経験を考慮し基本給を決定
ほか通勤・住居・扶養等の諸手当及び昇給制度あり
教職員就業規則
https://www.gunma-u.ac.jp/kisoku/pdf/chap_02/sec_0220/022010.pdf
2号年俸制適用教員給与規則
https://www.gunma-u.ac.jp/kisoku/pdf/chap_02/sec_0220/022085.pdf
12. 就業時間 8:30~17:15を基本として、専門業務型裁量労働制を適用
(1日7時間45分働いたものとみなす)
13. 試用期間 6か月
14. 休日・休暇 土・日、祝日法に基づく休日、年末年始(12月29日~1月3日)
年次有給休暇、特別休暇等
15. 社会保険等 文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険、労災保険
16. 受動喫煙防止措置の状況
敷地内禁煙(ただし、屋外指定箇所に喫煙場所設置)
17. 応募締切 令和8年8月31日必着
18. 提出書類 (1) 教員個人調書(本学所定様式)
(2) 教育研究業績書(著書・学術論文等の総括表を含む)(本学所定様式)
(3) 科学研究費補助金等の受給状況(本学所定様式)
(4) その他の履歴・業績等(本学所定様式) ※該当がある場合
(5) 査読つき学術論文3編程度の別刷りまたはコピー
(6) これまでの研究概要(1,000字程度)
(7) 着任後の研究と教育に関する抱負(1,000字程度)
(8) 参考意見を伺える方(2名)の氏名と連絡先

19. 書類送付先 〒376-8515 群馬県桐生市天神町一丁目 5-1

群馬大学大学院理工学府物質・環境部門 応用化学プログラム長 中村 洋介
簡易書留にて「応用化学プログラム無機物質科学分野教員応募書類」と朱書きのうえ、郵送願います。

なお、提出書類は原則として返却いたしません。

20. 選考内容 書類選考の上、合格者に対し面接（プレゼンテーションなど）を実施
面接等実施に伴う旅費・宿泊費等の諸経費は応募者負担

21. 問い合わせ先 群馬大学大学院理工学府物質・環境部門 応用化学プログラム 中村 洋介

電話:0277-30-1310

e-mail: nakamura@gunma-u.ac.jp

22. その他

- (1) 応募書類に記載された個人情報、本選考以外の目的には使用しません。
- (2) 群馬大学では、研究者の多様性を高めるため、若手研究者や女性研究者、外国人研究者の採用促進に取り組んでいます。若手研究者や女性研究者、外国人研究者の研究環境を整備するための支援として、着任時に、スタートアップ経費を配分します。
- (3) 群馬大学は男女共同参画を推進しており、業績（研究業績、教育業績、社会的貢献等）及び人物の評価において同等と認められた場合には、積極的に女性を採用します。
なお、女性研究者等に対する支援制度については、こちらをご参照ください。
(リンク先: <https://diversity.gunma-u.ac.jp/support/research/>)